

マイコプラズマ肺炎 要注意

全国的にマイコプラズマ肺炎の罹患者が急増しています。主な症状は咳・発熱。白馬村でも小中学生の流行がみられつつあります。現在白馬中では、咳や発熱、頭痛等での欠席生徒が多い状態が続いています。咳が治まらない、発熱や倦怠感があるなどの症状がある場合は早めの医療機関受診をおすすめします。潜伏期間が2～3週間と長いので流行が長く続くこともあります。なお、現在マイコプラズマだけでなく、インフルエンザ、新型コロナ、溶連菌など様々な感染症が出ていますので、早めの受診で適切な治療を受けられるようお勧めします。他への感染を広げないためにもご協力をお願いします。



いずれも診断されましたら学校に速やかにご連絡ください。出席停止用紙をお渡しします。
出席停止期間を終え、病状がすっかり回復しましたら記入された出席停止用紙を持って登校してください。登校後すぐに用紙を担当へ渡してください。
改めて、下記に出席停止期間と出席停止用紙の記入者についてお知らせします。

インフルエンザ:発症したのち5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで→保護者が記入
新型コロナ: 発症したのち5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで→保護者が記入

マイコプラズマ肺炎、溶連菌感染症、手足口病等:
病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで
→主治医(診断した医師)が記入

ご不明な点はお気軽に学校保健室(72-2026)までお知らせください。



咳エチケットを守ろう

咳やくしゃみが出る場合は、マスクをして飛沫が飛ぶのを防ぎましょう。マスクがない場合は服の袖やハンカチなどで口を覆ってください。

集団生活をする学校では大事なエチケットです。手で覆った場合はそのあとすぐに手を洗いましょう。



どんな感染症も、予防の基本は 手洗い・換気・抵抗力を高めること！



手洗い

あなたはできている？

YES

NO



換気

あなたはできている？

YES

NO



規則正しい生活で免疫力 UP

あなたはできている？

YES

NO

全部 YES にチェックがつくような生活を送りましょう